

2022年9月7日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ



ユニバース、SmartDB®で食品スーパー特有業務のデジタル化 ～本部・店舗の脱 Excel から個別システム移行までをノーコードで実現～

「デジタルの民主化^(※1)」のリーディングカンパニー 株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび株式会社ユニバース（本社：青森県八戸市、代表取締役社長：三浦 建彦 以下 ユニバース）が、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**（スマートデービー）」を導入したことを発表します。

ユニバースでは2022年6月より、衛生指摘管理や店舗用地の賃貸借管理などで**SmartDB®**で構築した業務アプリの利用を開始しています。**SmartDB®**を「脱 Excel・紙を実現する基盤」として位置づけ、ユーザーより要望が挙がっている個別業務(100件以上)のデジタル化を目指しています。また、すでに利用している個々のシステムについても、可能なものは**SmartDB®**に移行することで、ユーザーの使い勝手向上と、改善要望への迅速な対応等を図る予定です。

※1 現場部門（非IT部門）が自らデジタルを活用し、全社のデジタル化を加速させること

<https://www.dreamarts.co.jp/democratization/>

■食品スーパー特有業務の多くがデジタル化できず、属人性が課題に

株式会社アークスの傘下企業であるユニバースは、青森・岩手・秋田県でスーパーマーケットを展開するチェーンストア企業で従業員数は約4,300名（2022年8月時点）にのぼります。経営理念には「Customers,our Priority（私たちは）いつでもどこでも顧客最優先」を掲げ、刻々と変わりゆく市場環境のなかで常にお客さま視点に立ったお店づくりをおこなっています。

ユニバースでは基幹業務に関するシステム活用は進んでいる一方、本部内の各部署や店舗での細かな業務に対するデジタル化ニーズに応えきれませんでした。2020年よりRPAにも本格的に取り組んでいますが、「RPAはすでにデジタル化された業務を人に代わってロボットがおこなうもの」であり、Excelや紙を主体とする業務はRPAの候補にもなりませんでした。会社の規模が拡大する一方で、管理的な業務も増加し、Excelや紙での対応が増えた事も煩雑さや属人化を招く原因になっていました。

特に本部における専門性の高い管理業務には、一般的なパッケージソフトウェアでは対応できず、個別開発をするには費用対効果の面でデジタル化を断念せざるを得ないものが多くありま

した。そして、それらの業務の多くは Excel や紙での運用であり、業務ルールや仕組みが整備されておらず「人に作業がついた」業務になっていました。そのためデータのチェックや入力・転記などの事務作業時間が増える、個人に依存する、情報資産として活用できないなどのさまざまな課題がありました。

たとえば「衛生指摘管理」^(※2)では、1店1店の衛生環境を検査し、改善が必要な個所の指摘を全店で即時共有できる基盤がなく、指摘内容や指摘箇所をデジタルカメラで撮影した写真を、本部スタッフが Excel で加工し全店へメール配信するなどの手間が発生していました。また、本部業務のひとつ「店舗用地の賃貸借管理」では、店舗の土地や建物に関する契約を Excel で管理していることで期日管理業務が煩雑となり、更新などの手続き漏れがいつ発生してもおかしくない状況にありました。

その他、業務のペーパーレス化や、サポート切れの近い既存システムの業務アプリ移行など、デジタル化におけるさまざまな課題がありました。これらを一挙に解決するため、ユニバースではデジタル化をノーコード開発で実現できるプラットフォームの導入検討を開始しました。

※2 薬剤師会が店舗に訪問し、衛生面での管理不備を指摘。店舗は指摘への改善結果を写真で報告。

■本部・店舗のあらゆる業務を低コストで内製化できる SmartDB[®]を採用


いくつかのツールを比較検討したうえでユニバースが SmartDB[®]を採用した理由は、本部・店舗で発生するさまざまな業務をノーコードで開発できる標準機能のカバー範囲の広さと、充実した機能セットに対して利用料金がリーズナブルであることです。

店舗運営に関する業務では「衛生指摘管理」を iPad アプリ化し、Web データベース機能により他店舗が指摘された内容・改善結果を自店でも確認できるようになったことで、各店舗での自発的な改善につながるなど、業務の効率化・全店舗の QSC^(※3) 向上の促進につながっています。

本部の「店舗用地の賃貸借管理」では、契約情報をデータベース化し、ノーコードでビューの設定をおこなうことで期限や対応状況を簡単に確認できるようになったほか、期限が近づいた契約のアラート通知を自動化し、対応漏れを回避できるようになりました。また、ワークフロー機能により適切な手順どおりに業務プロセスを進行できるようになり、入力情報の自動チェックにより過不足のない情報蓄積ができています。

これら SmartDB[®]で構築した業務アプリを社内に報告した結果、SmartDB[®]への期待感が上がり、各部署から 100 を超える業務に対するデジタル化の要望があがりました。

【イメージ：本部と店舗のあらゆる紙・Excel 業務を SmartDB®でデジタル化】



<ul style="list-style-type: none"> • 衛生指摘管理 • 賃貸借契約管理 • テナント管理 • 店舗設備機器管理 	<ul style="list-style-type: none"> • 店舗巡回記録 • 陳列コンクール • お客様の声 • 許認可管理 	<ul style="list-style-type: none"> • ロードサイン管理 • ムダトリ <small>(業務改善案の募集、対応報告)</small> • チェッカーコンテスト <small>(店舗スタッフのレジスキルを競うコンテスト)</small> • など
---	---	---

そのほか、広範囲な業務要件にも対応できることから既存システムで個別開発・運用している業務アプリの移行先としても期待しており、順次対応予定です。

※3 「Quality (クオリティ)」「Service (サービス)」「Cleanliness (クリーンリネス)」の略

■株式会社ユニバース 情報システムグループ マネジャー 横羽 鷹也 氏からのコメント

ユニバースにお買物に来てくださるお客さまにご満足いただけるサービスを提供し続けるためには、従業員の生産性を高めていくことが重要な要素です。生産性の改善を目的としたシステム投資は継続しておこなってきましたが、特に細かい業務においては紙や Excel で管理・運用しているものも多く残っているのが実情です。紙や Excel での業務は煩雑で、属人化を招く要素になります。一方で、個別にシステム開発をすると投資回収が難しい業務は数多く点在しており、社内ユーザーのニーズには応えたいが応えきれない、といった情報システム部門としてのジレンマも抱えていました。

そこでノーコード開発が解決策のひとつと考え複数製品を比較検証したところ、SmartDB®が最も広範囲の業務を標準機能だけでデジタル化でき、社内ユーザーからの長年のニーズに応えられると共に、すでに保守サービスを受けられない既存システムの移行先としても受容可能である目途が立ちました。全社のあらゆる業務をデジタル化するとともに、業務プロセスを見直し、生産性の向上にも繋げ、さらに業務システムを集約していきたい私たちにとって、SmartDB®の導入が最適な選択でした。すでに業務のデジタル化によって各店舗での自発的な改善なども生まれしており、その効果が徐々に出始めています。今後 1~2 年以内に、100 を超える業務のデジタル化も進めてまいります。

ドリーム・アーツ様には、これからもユニバースにおける業務の標準化や QSC の向上などを実現する“協創パートナー”として継続的にご支援いただけることを期待しています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。



SmartDB® (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※4)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細やかな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※4 テクノ・システム・リサーチ「2021 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア (従業員数 1,000 名以上)」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド **SmartDB®**、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shopらん®** (ショッピングラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®** (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2502 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2022 DreamArts Corporation.